

講義科目名称： 茶懐石論演習

授業コード：

英文科目名称： Seminar in Tea Dishes

|        |     |     |        |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間   | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期     | 1   | 2   | 必修     |
| 担当教員   |     |     |        |
| 松井 豊   |     |     |        |
| 月1     |     |     |        |
| 添付ファイル |     |     |        |
|        |     |     |        |

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 科目の概要                     | 日本伝統の総合芸術文化である茶道の稽古を通し、心の豊かさ、物質本来の美しさを捉え、現代の移り変わりに対処できる新しい人間像を見いだす。  |
| 授業の内容                     | <p>第1回 オリエンテーション<br/>授業の進め方・道具の確認・成績評価について</p> <p>第2回 割稽古①<br/>畳の上での座り方・お辞儀の仕方など</p> <p>第3回 割稽古②<br/>畳の上の歩き方・立ち居振る舞いなど</p> <p>第4回 割稽古③<br/>お菓子の食べ方・お茶の点て方・お茶の喫み方など</p> <p>第5回 割稽古④<br/>帛紗の捌き方</p> <p>第6回 割稽古⑤<br/>帛紗を使つての道具の清め方</p> <p>第7回 割稽古⑥<br/>茶巾のたたみ方・茶筌と茶碗の清め方</p> <p>第8回 割稽古⑦<br/>道具の清め方の一連を復習</p> <p>第9回 盆略点前①<br/>お盆を使った初歩の点前</p> <p>第10回 盆略点前②<br/>点前の復習（1）</p> <p>第11回 盆略点前③<br/>点前の復習（2）</p> <p>第12回 盆略点前④<br/>点前の復習（3）</p> <p>第13回 盆略点前⑤<br/>点前の復習（4）</p> <p>第14回 盆略点前⑥<br/>点前の復習（5）</p> <p>第15回 まとめ<br/>授業の振り返りなど</p> |
| 学習到達目標                    | 「茶道を学ぶ事により、日本の文化、立ち居振る舞い、礼儀作法を知る。」   |
| 授業の方法                     | 実技・演習  |
| 成績評価の方法                   | 実技試験（70%） 授業態度（30%）  |
| 教科書・テキスト                  | 「新版、茶道」淡交社   |
| 参考書                       | 特に指定しない  |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | 講義内容の復習  |
| 履修上の留意事項                  | お菓子などの写真を撮影する為に携帯を所持する事を認めるが、それ以外での使用は禁止する。<br>また授業で使用する道具を忘れず持参する。  |
| オフィスアワー                   | 月曜日1、2限目・金曜日1、2、3限目  |
| 担当教員への連絡方法                | 3号館4階茶道教室まで  |
| その他                       |  |